

学校教育目標	ゆめにむかって かしく やさしく たくましく
目指す学校像	「地域に根ざし、地域に愛され、地域とともに育つ」学校 「思いやりとやさしい心があふれる」学校
重点目標	1 生涯にわたり、主体的に学び続ける力を身に付ける授業の実践 <昨日よりも今日、成長したことが実感できる学習指導> 2 子ども一人ひとりがWell-Beingな学校 <温かい学級経営、安全・安心な教育環境整美、確かな児童理解に基づく教育相談・生徒指導> 3 コミュニティスクールの推進<子どもを中心に、地域に根ざし地域に愛される学校> 4 教職員の資質向上と働き方改革 <教職員が互いに高め合う学校課題研究。心身ともに健康で働きやすい職場環境>

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

		学 校 自 己 評 価				学校運営協議会による評価			
		年 度 目 標		年 度 評 価		実施日令和 年 月 日			
		番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
学びの質の向上に関する取組	心のサポートに子どもの発達や発達に関する取組	1	(現状) ・児童の学びの質の向上を図るため、ICT の効果的な活用による授業改善、家庭学習の習慣化や読書活動の充実、地域との連携を生かし、体験活動の充実を図るカリキュラム・マネジメントを推進している。 (課題) ・保護者の学校評価「学力の定着」で肯定的回答割合は81% (前年度比-8.3pt) 児童は85% (前年度比+4pt) 教職員は97% (前年度比+11pt) となっており、家庭と連携し学習の習慣化を進めていく必要がある。	児童の学びの自律化と家庭学習や読書の習慣化による基礎学力の向上	①ICT 機器を活用し、児童が自分の意見をまとめたり、分かりやすく伝えたりする学習を各教科で実施する。(各単元1回以上) ②学校から各家庭に配布した「家庭学習の手引き」に基づき、年間を通じて家庭学習を実施する。(通年) ③朝読書や図書ボランティアによる読み聞かせ等を実施する。(通年) ④地域との連携を生かしたカリキュラム・マネジメントを推進し、体験活動を充実させた授業を実施する。(各学年1回以上)	・学びの指標でICTの項目が昨年度を超える (R7:3.19) ・保護者の学校評価「学力が身に付いている」で肯定的回答割合が前年度より向上。(R7:81%) ・児童の学校評価「家庭で学習する習慣が身に付いている」で肯定的回答割合が昨年度より3pt向上。(R7:+2pt) ・全国学力・学習状況調査「1日の読書時間平均30分以上」の割合が全国平均以上。			
		2	(現状) ・温かい学級経営を基盤として、教育相談体制とインクルーシブ教育の充実を図っている。 ・児童同士のつながりを深めるため「スマイルフェスティバル」をはじめ、児童会を中心とした異学年交流を行っている。 (課題) ・児童同士のトラブルは昨年度複数発生し、心のすれ違いやコミュニケーション力不足に起因する事案が多い傾向にある。	インクルーシブ教育にもとづいた「思いやりとやさしい心があふれる」学校の実現	①スクールダッシュボードの活用を通して、児童一人ひとりのよさを生かした温かい学級経営を推進する。(通年) ②共同・交流学習をより一層推進し、学校行事、異学年交流等を含め、障害のあるなしによらず児童が同じ場で共に学ぶ。(通年) ③通級指導教室の担当教諭と学級担任との連携を図り、通級指導で学習したことを学級で実践する。(通年)	・児童の学校評価「思いやり心が育っている」で肯定的回答割合が昨年度と同水準。(R7:96%) ・保護者の学校評価「特別な支援が必要な児童に対して配慮ある教育がなされている」で肯定的回答割合が昨年度を超える。(R7:93%)			
学校づくりに関する取組	地域とともにある取組	3	(現状) ・地域や保護者に学校の様子が伝わるよう、学校だより等を毎月学校ホームページに掲載するとともに、SSN 連絡協議会や学校運営協議会を通して、地域とともにある学校づくりを進めている。 (課題) ・学校ボランティアをはじめとする地域の教育力を借りることで、引き続き教育活動を充実させ、児童の地域への愛着を一層育んでいく必要がある。	コミュニティ・スクールを推進し「子どもを中心に地域に根ざし地域に愛される学校」の実現	①地域、保護者の方が学校の様子がわかるように、学校だより等を学校HPに掲載する。(毎月) ②SSN 連絡協議会(2回)学校運営協議会(3回、児童の参加)等を通して積極的に地域、家庭に情報を発信し活動の周知、協力を進める。 ③「学校ボランティア」を組織し、学校ファームの計画的な経営、図書館教育を実施する。(学校ファーム会議2回 図書ボランティア会議3回)	・児童、保護者の学校評価「地域の行事に参加している」で肯定的回答割合が昨年度を超える。(R7:児童80%保護者80%) ・「学校だより等で学校の様子がよくわかる」で肯定的回答割合が昨年度と同水準 (R7:94%)			
		4	(現状) ・安全点検に基づき、施設・設備の状況を継続的に確認しながら計画的な修繕や予算の適正な執行を行う。 ・体育活動時や水泳指導時等を想定した傷病者対応訓練、自然災害や不審者対応を想定した各種訓練を計画的に実施している。 (課題) ・今日的な事件・事故事案を踏まえ、自然災害や不審者などへの対応力を高める。	安全・安心な教育環境整備	①毎月、安全点検を確認するとともに、適切な修繕を計画的に進める。 ②安全確保に係る問題が生じた場合は、即日に方針を決定し、対応を進める。(通年) ③より実践的な傷病者対応訓練(体育活動時、水泳指導時、複数傷病者発生時等)を実施する。また、様々な自然災害に対応した避難訓練、不審者対応訓練を実施する。(通年)	・保護者の学校評価「安全確保、安全対策」で肯定的回答割合が前年度を超える。(R7:86%) ・学校配当予算の執行率99%以上。(R7:99%)			
教育環境の整備に関する取組	教職員のキャリア形成に関する取組	5	(現状) ・児童の主体的な学習を促す授業改善をテーマに、学校全体で研修を行っている。 ・高学年の教科担任制を実施している。 (課題) ・学校課題研究を充実させ、教職員の資質向上をさらに図っていく必要がある。 ・時間外勤務の縮減に取り組み、教職員が健康で働きがいのある職場環境づくりを図る。	教職員がやりがいを持ち、健康で能力を最大限に発揮できる環境づくり	①ベテラン教員と新人教員を組み合わせた人事配置により、毎日のOJTを充実する。(通年) ②教職員に研修履歴や深めたい学びについて市教委が主催する様々な研修について奨励する。(通年) ③計画的に校内研修を実施する(年間25回以上) ④勤務規律と教職員事故防止のため、服務研修を実施し、危機管理意識の向上を図る。(毎学期1回)	・児童の学校評価「学校の授業が楽しい」で肯定的回答割合が前年度と同水準。(R7:93%) ・人事異動調査の職務についての満足度(肯定的回答)が前年度と同水準。(R7:93%)			

学校運営協議会からの意見・要望・評価等